



NEWS

Hello Autumn



こんにゃく作り体験



室戸ドルフィンセンター



鯉の薫焼き



室戸岬



中岡慎太郎像



四万十川でのカヌー体験



馬路村

5年 研修旅行

高知コース

令和元年7月22日(月)～7月26日(金)

高知は地図で見れば広島に近い県ですが、行ってみると風景や風土などが全く違いました。私は近くて遠い県である高知で、豊かな自然を体感し、自然と共存する大切さ、そのための工夫などを学ぶことができました。また、皿鉢料理や鯉のたたき作り体験などから、食においても文化の違いを感じました。今回の研修旅行高知コースは楽しかっただけでなく、学ぶこともたくさんあり、様々な経験を通して私は一回り大きく成長することができたように思います。

5年1組 松井りの

同じ中四国の地域に属しながら近くて遠い県、高知県。大らかな気質を生む要因となった太平洋に面する気候や風土を学び、魚などの海洋生物を見て、調べて、食べて、高知県を丸ごと体感してきました。また、中山間地の過疎地を再生させ、全国に名を轟かせた馬路村を訪問、見学をし、地方創生のヒントを探りました。

私は研修旅行高知コースで、自然について学ぶことができました。高知大学では海底鉱物・資源の開発について学び、海洋コア総合研究センターの最先端の地球科学分析装置などを見学しました。また、四万十川でのカヌー体験では大自然を満喫し、室戸岬では海水の浸食などによってできた荒々しい地形を目の当たりにするなど、高知の自然を丸ごと感じることができました。自然に触れることで、自然から学ぶことの多さ、大切さを改めて感じる事ができた研修旅行となりました。

5年5組 白井一樹

屋久島エコプログラム体験コース

令和元年7月22日(月)～26日(金)

海や森の中でウミガメ、ヤクシカ、ヤクサル、そして森の主「屋久杉」や群生する苔に出会い、その1つ1つの神秘的な雰囲気時間に時間を忘れて見とれてしまいました。



異世界「屋久島の森」



ウミガメとの距離50cm

白谷雲水峡トレッキングでは歩を進める度に、緑の割合がふえていき、日光を求めてよじれた樹木や根元に転がる花崗岩まで、視界に入る全てが苔に覆われている「苔むす森」。森へ近づくとつれ動物の鳴き声や川のせせらぎの音も聞こえず静寂に包まれ、ジブリのもののけ姫の世界に引き込まれていきました。苔一つにも歴史があり、学校の教室では感じることのできない多くの感動をこの屋久島で体験しました。

知覧特攻平和学習では自分と同じ年齢の方たちが特攻兵として命を落としてしまったという悲惨な事実を知り、このことはもっと多くの人に知られるべきだと思いました。屋久島での自然体験では、海に行けば沢山の魚やウミガメを見ることができ、山に行けば、樹齢3,000年を超える紀元杉を見ることができました。海と山の距離がとても近く、海でも山でも大自然を感じられる屋久島は後輩たちにも胸をはって勧められる場所でした。 5年6組 上杉 颯史

日本一周コース

前半…令和元年7月22日(月)～7月28日(日) 後半…令和元年7月30日(火)～8月5日(月)

日本一周コースは、協同性・自己管理能力の向上を目的とした研修旅行です。また、個人の目的も各自で設定して臨みました。前半は日程の半分が雨にたたられ、函館の夜景は霧のためぼんやりとしか見えぬ残念な思いをしました。後半は好天に恵まれ、函館の夜景は過去最高の景観となりました。青春18切符を使い、幾度も乗り換えをしての旅で生徒たちの自己管理能力・協同性は着実に向上していきました。在来線乗り継ぎ5日間をかけて広島から稚内まで移動しました。車窓からの景観、各地のグルメ、物産、独特な方言を体験で

きました。また、稚内から羽田経由での鹿児島までの航空機の旅では、わずか5時間半で北から南まで縦断する経験もしました。果たして日本は広いのか狭いのか、各人がそれぞれの思いを巡らせ、一回り成長できたことでしょう。

日本一周コースでは、時間や持ち物の管理がとても重要になります。場所や時間を自分たちで決めて行動しなければいけないことが多く、その計画を立てることで自己管理の大切さを考えさせられました。また、中学校の研修旅行とは違い、自分たちだけで行動することが多く、「自立」を自覚しました。準備はたいへんですが、その分とても自由で楽しい研修旅行となり、自由には責任が伴うという言葉も、身をもって感じることができました。

5年4組 大竹 理子



仙台駅にて「集合!」

パラオコース

令和元年7月24日(水)～7月30日(火)

パラオ共和国は、第一次世界大戦後に日本の委任統治領となったこともあり、約30年間、日本と平和な時代を共にし、今も親的な人々の多い国です。生徒達は、太平洋戦争以前を知る日本語を話せる年配の方々や交流し、上皇・上皇后両陛下が訪問された激戦地ペリリュー島を訪問して、被爆地広島とは違った平和学習を行いました。また、大使館やJICAパラオ支所を訪問し、パラオ共和国の現状や現在も続く日本との深い関わり、環境問題と

その取り組みなどについて、現地で活躍する日本の方々より教えていただきました。パラオの美しい自然を全身で感じ、自然と平和の大切さをあらためて認識した旅となりました。

このコースで私が一番衝撃を受けたのがペリリュー島での歴史の勉強でした。島に上陸した時は、楽園を連想させるような景色でしたが、奥に入っていくと破壊された戦車や洞窟陣地など戦争の傷跡が多くあり、とても胸が痛みました。戦後に生まれ戦争を知らない私達にとって、戦争の悲惨さを強く訴えかけてくる激戦地ペリリュー島を見学できたことはとても意義のあることだと思います。この体験を通じて平和の重要性を世界に発信できるような人間になりたいと強く思いました。

5年3組 中島 渉



パラオのおばあちゃんとの交流

4年 語学研修／ニュージーランド

● 令和元年7月23日(火)～8月12日(月) ●

ニュージーランドのタウランガにあるオツモエタイカレッジにて22名の生徒が語学研修に参加しました。初めは、日本とは違う生活に不安を感じていたようですが、ホストファミリーとコミュニケーションを取り、パディと一緒に授業を受ける中で、日々の生活を楽しんでいました。自分の英語がなかなか伝わらないもどかしさを感じることもありましたが、それでも伝えようとすればいつか伝わるという機会を重ねることで、自信を持ち、さらには積極的にコミュニケーションを取ろうという意欲につなげることができました。参加した生徒それぞれが、この経験から学んだこと、得たことを自身の成長へつなげ、活躍の場をさらに広げてほしいと思います。

研修を終えて向上したことは、次の3つです。1つ目は積極的な行動です。自分から話しかけたり、手を上げたり、前に出て行動することができるようになりました。2つ目は英語力です。既習単語を使って文を組み立てたり、聞き取ったりする能力も向上しました。最後は自立です。ニュージーランドでは「自分のことは自分でする」のが当たり前。食事の準備や掃除なども自分で取り組みました。異文化に触れる中で日本との違いについて考えることができました。

海外での体験は、他ではできない唯一無二のものであり、この経験を今後活かしていきたいと思います。

4年2組 上田 隼輝



修了式 パディと一緒に

3年 交換留学／タイ

● 令和元年7月28日(日)～8月11日(日) ●

4回目となる国立カセサート大学附属学校(通称:サティカセ)との交換留学に6名の生徒が参加しました。タイでは盛大な歓迎を受け、サティカセの一員として生活しました。学校ではサティカセ生と一緒に受ける通常授業以外にも、留学生のための特別授業が多く用意されていて、舞踊や音楽、ムエタイなどタイの伝統文化を体験したり、観光学習としてアユタヤを訪れたり、多くの学びを得ながら交流を深めました。

同じアジアにありながら、日本とは異なる発展を遂げているタイ。見るもの食べ

るもの触れるもの全てが新鮮で、驚きと発見の連続でした。ホストファミリーやサティカセ生との交流を通して、人々の温かさやおもてなしの心、タイの文化を随所で感じることができました。

初めての留学だったので最初は不安もありました。ホストファミリーと会った初日は自分の英語に自信がなく、あまり積極的に話せませんでした。しかし陽気なタイの人の温かさのおかげで少しずつコミュニケーションが取れ、自分の話す英語にも自信がついてだんだん自分から話せるようになりました。一生ものの友達や知り合いができたことはとても大きな変化です。今後は交換留学で学んだ積極性を活かし、様々なことに恐れず挑戦していきたいです。たとえ失敗してもそこから学び、少しずつ成長して自分の夢の実現に近づければいいと思います。

3年6組 北 寿々花



伝統衣装でアユタヤを散策

2年 ニュージーランド交換留学

● 令和元年7月21日(日)～8月5日(月) ●



美術の授業

25名の生徒が参加して2週間のホームステイを行い、異文化間の友情をゆっくりと育むひとときとなりました。パサデナ中学校では、この国に生きる人々のルーツのひとつであるマオリの文化に、直に触れることができます。厳粛な伝統的歓迎行事に始まり、マオリの伝統舞踊である「ハカ」や「ポイ」を習い、マオリの織物やスポーツも体験しました。季節も学校の決まりも授業の形もお弁当の中身も日本とは大きく異なる生活を味わった彼らは、家族に、学年に、学校に、この交換留学で得た気づきを伝えてくれるでしょう。そして今後、ますます違う文化や違う言語との垣根を越えて活躍の場を作り出す人になっていくことでしょう。

パサデナ中学校で過ごした時間が一番印象に残っています。授業で英語が分からないときは友達に助けをもらい、スポーツなどもみんなで協力してすることができ、充実した2週間でした。今回の滞在で一番心がけたことは、自分から積極的に話しかけることです。そうすることで、使う英語を間違えてしまったときも相手がしっかり意味を考えて会話してくれました。失敗をおそれずに話しかけることで、たくさんの友達ができることが分かりました。

2年4組 西村 優志

原爆手記朗読劇鑑賞

令和元年7月4日(木)

夏の会による原爆手記朗読劇「夏の雲は忘れないーヒロシマ・ナガサキ一九四五年」。今年度は1年生から4年生までが観劇しました。オーディションで選ばれた生徒たちは、地元朗読生徒として放課後に練習を重ねていきました。原爆によって家族を失った人たちの思いを綴った手記に向き合い、感情を込めすぎず、丁寧に伝えようと朗読していました。終演後の交流会では朗読生徒だけでなく、観劇した生徒たちも一緒に女優さんたちの思いを聴くことができました。原爆や戦争への思いだけでなく、フクシマも核の犠牲であること、人間と核との関わり方を真剣に考えなくてはならないことも学びました。34年続いた朗読劇の活動は今年で終了します。広島に集う若者としてヒロシマ・ナガサキを理解し、女優さんたちの思いを多くの人たちに届け、平和な世界をつくる人になってほしいです。



女優さんとの交流会



シェルホールで練習



リハーサル風景



朗読関係生徒の集合写真

私は今回の朗読劇を通じて改めて戦争の恐ろしさを感じました。私の曾祖母は実際に戦争を体験し、原子爆弾から奇跡的に助かることができたので、よくこの恐ろしい戦争の話を知っていました。そして、朗読劇を見て、戦争をすると懸命に生きてきた人々が一瞬で焼かれ苦しむことを学びました。私は、この原子爆弾の恐ろしさと戦争の怖さを次の世代に伝えていきたいと心に強く誓いました。

1年3組 永岡 利菜

私は、戦争はあってはならないことだと改めて思いました。大切な人を失った人の辛さや苦しさが想像でき、原爆はなんて悲惨なのだろうと思いました。私たちは、その人の辛さやその時の現実を、次の世代に責任をもって伝えなければいけないと感じました。見たことのない惨状を目の前に突然突き付けられ、当時の人々はとても恐ろしく苦しかったと思います。まだまだ自分が知らない事はたくさんあると思うので過去としっかり向き合い、今に活かせるようにたくさんのことを学びたいと思います。

3年3組 荒木 一花

芸術鑑賞

令和元年8月30日(金)



テンポの良いストーリー展開



今年度はミュージカル「茶の夢～宗箇さんと私～」を鑑賞しました。2019年は、広島藩浅野家の初代藩主浅野長晟が広島城に入城してから400年という節目の年にあたります。茶人としても知られ、広島藩の家老である上田宗箇の武家茶道や、宗箇が隠棲していた地域に伝わる広島神楽に込められた願いや祈りを通して、現代に生きる私たちに「生きる」ということを考えさせるものでした。戦乱の世を生き抜くことのつらさ、原爆投下により「70年は草木も生えない」と言われたヒロシマ、現代社会で自身が進むべき道を見つけられないことへの不安などを知りました。そして、それぞれの時代で広島に生きる人々が、困難を乗り越える支えとなった「生きる希望」や、その先にある「生きる喜び」を、生徒たちは追体験することができました。広島歴史、伝統文化を知るのみならず、広島や自分自身についてとらえ直すよいきっかけとなりました。



私は茶道部に所属していることもあり、今回の芸術鑑賞にはとても親近感がわきました。同年代の高校生が主人公だったので、現代の視点から400年前の広島をみることができました。上田宗箇と百姓らのやりとりからは、彼が優れた武将であったにもかかわらず武士という身分にとらわれず、また何よりも戦のない平和な世の中を望んでいたことが分かりました。2度の世界大戦や原子爆弾による被害、さらには昨年の豪雨災害など江戸時代の枠を超えた出来事も描かれており、平和の大切さや自然について考えさせられました。縮景園に込められた想いも知ることができ、私はこれからも茶道を通じて平和や人間の在り方について考えを深めたいと思います。

6年3組 佐々木 彩乃

自分を信じて夢に向けて頑張してほしいというメッセージを感じました。また、ミュージカルを通じて昔の苦しい生活や新しい広島の魅力を発見することもできました。上田宗箇が造った縮景園への想いや、その後原爆で焼け野原となっても復興し、現在でもその気持ちを引き継いで美しい景色を生み出していることの素晴らしさが分かりました。

1年2組 橋口 歩佳



役者の方々との交流

今年もニュージーランドのオツモエタイカレッジからの留学生を受け入れました。今回は10名の生徒が来校してくれました。昨年度は豪雨の影響で休校などもあり、十分なプログラムが実施できませんでしたが、今年は何とか天候にも恵まれ、すべてのプログラムを実施することができました。約9日間という短い時間でしたが、本校生徒との交流会、平和公園での平和学習や宮島での文化学習、また原爆手記朗読劇鑑賞など、多彩なプログラムを通してお互いに学びの多い時間を過ごすことができました。



お好み焼きに挑戦(ミツワソースにて)

平和公園を案内した生徒の感想

平和や原爆について知っているつもりでしたが、まだまだ知らないことが沢山あり、自分の学びにもつながりました。もっと英語を話せるようになって、思いを伝えられるようになりたいと思いました。

5年3組 廣瀬 文乃



別れの朝(広島駅にて)

挑戦することにわくわく：夏休み外部団体主催プログラム

学校外にも優れた外部団体主催の教育プログラムがあります。本校では、学校外で行われるさまざまな活動に参加することを奨励しています。今年の夏休みも多く生徒のみなさんが主体的にチャレンジし、貴重な体験を通して多くの学びを得ることができました。その中からいくつかを紹介します。

「無人島『釜島』体験ツアー」

令和元年8月20日(火)～8月22日(木)

私が岡山県の無人島「釜島」に行く前と後では、無人島に対するイメージが大きく変わりました。もちろんとても不便で生活しにくい面はありましたが、それよりもみんなで海に潜って食材を探したり、花火をしたりという楽しい思い出のほうが多いです。また、普段よりも時間の融通が利き、自分たちがしたいことに集中することもできました。生活の面では、不便でやることが多かったからこそ、それぞれができることを見つけていました。この無人島ツアーを通して、グループ活動は一人ひとりの行動があってこそ成り立つものだとわかりました。

3年4組 林 美紀

「広島市・大邱広域市青少年交流事業2019」

令和元年7月25日(木)～7月29日(月)

今回で18回目となるこの事業では、広島市と大邱市の中高生がホームステイや文化体験を通して、互いの文化や考えを学び友好を深めました。日韓関係の悪化により多くの市で交流事業が中止となるなか、現地を訪れるまでは不安があったものの、実際は笑いあり、涙ありの素晴らしい交流ができました。そして、政治には影響されない互いの絆を大切にいくことを確認しました。こういう時こそ中止せず交流することに意味があると強く思いました。

4年4組 大橋 一輝

「ひろしまジュニア国際フォーラム」

令和元年8月20日(火)～8月23日(金)

私は「ひろしまジュニア国際フォーラム」に参加し、核兵器の廃絶や平和構築のために取り組めることについて、県内外の人、また海外からの留学生とディスカッションをしました。たくさんの人と意見交換することで、視野が広がり、平和な世界の実現のために自分ができることがより明確になりました。今後の平和記念公園のガイドボランティアに生かしたいと思います。

4年4組 大山 ころろ

第55回文化祭Information

令和元年に開催される文化祭テーマは、1年1組安塚かのかんさん考案の『万葉の華』です。万葉集から引用しています。万葉集とは日本最古の歌集で、天皇から農民まで幅広い階層に愛され、現在でも語り継がれています。令和元年文化祭も思いは同じ、多くの方に喜ばれ、歴史に刻まれる一人ひとりの花を華やかに豪華絢爛に咲き誇りたいとの思いが込められています。みんなで力を合わせ、素晴らしい文化祭を作り上げましょう。



・1日目

校内発表

日程: 令和元年11月8日(金)
場所: 本校体育館

・2日目

一般公開

日程: 令和元年11月10日(日)
場所: 本校校舎・体育館・グラウンド

第43回全国高等学校総合文化祭 2019さが総文



管弦楽部

部門名:器楽管弦楽部門 日程:令和元年7月29日(月)
会場:佐賀市文化会館

今回の全国大会を通して、同世代の人たちと一つの目標に向かうことの大切さを知りました。オーケストラとして活動している広島の高校生が集まり、何度も合同練習を重ねて本番を成功させた経験は、とても刺激的で、大きな学びとなりました。 5年3組 住野 綺音

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(競泳)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会

高校水泳部

参加種目:女子200m個人メドレー
女子400m個人メドレー

日程:令和元年8月17日(土)~20日(火)

会場:熊本市総合屋内プール

結果:予選敗退

今回のインターハイでは、自分のベストタイムよりかなり遅い記録しか出すことができませんでした。この大変悔しい思いをバネに、来年のインターハイに向けてこれからしっかりと強化していきたいと思います。

5年1組 耕井 萌



令和元年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会



高校硬式テニス部

参加種目:女子シングルス 日程:令和元年8月1日(木)~8日(木)
会場:KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園 結果:1回戦敗退

初めてのインターハイは緊張により満足できるプレーができませんでした。しかし、全国のレベルを感じることができたのでとても良い経験になりました。来年はインターハイに出場し、そこで勝つために、これからも練習を頑張りたいです。 5年4組 古谷 奏波

令和元年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会



なぎなた

参加種目:なぎなた演技の部 日程:令和元年8月8日(木)~8月13日(火)
会場:沖縄県立武道館 結果:予選敗退

今回インターハイでは、強豪チームや強い選手から多くのことを学ぶことができました。試合は2人とも緊張することなく、やりきることができました。この経験を活かして、次につなげていきたいです。 5年2組 河野 葵 4年5組 八木 優希子

CLUB NEWS

高校水泳部

●令和元年度広島県高等学校選手権水泳競技大会
日程:令和元年6月22日(土)・23日(日)
成績:女子200m個人メドレー
耕井 萌(5-1) 第1位 中国大会出場
女子400m個人メドレー
耕井 萌 第1位 中国大会出場

高校陸上部

●第67回広島地区高等学校夏季陸上競技選手権大会
日程:令和元年7月20日(土)・21日(日)
成績:女子100mハードル
山田 千尋(5-4) 第3位
●第69回広島県高等学校対抗陸上競技選手権大会
日程:令和元年8月24日(土)・25日(日)
成績:女子100mハードル
山田 千尋 第4位

高校硬式テニス部

●第72回広島県高等学校テニス新人大会(個人)
広島地区予選
日時:令和元年8月19日(月)・20日(火)
成績:男子シングルス
三井 哲朗(5-2)、大貫 颯太(5-5)、山田 幸征(5-5)、
中村 将也(5-6)、廣本 陽色(4-1) 県大会出場
男子ダブルス
小野 翔大(5-4)・中村 将也 県大会出場
大貫 颯太・廣本 陽色 県大会出場
女子シングルス
古谷 奏波(5-4) 県大会出場(予選免除)
牧野 月海(4-4) 県大会出場
女子ダブルス
古谷 奏波・牧野 月海 県大会出場

中高スポーツチャンバラ部

●第22回岡山県スポーツチャンバラ大会
日程:令和元年7月14日(日)
成績:長剣フリー有級の部
市頭 教晃(3-6) 第3位
小太刀初段・二段の部
市頭 教晃 敢闘賞

中学陸上部

●第65回全日本中学校通信陸上競技広島県大会
日程:令和元年6月29日(土)・30日(日)
成績:共通男子110mハードル
村上 諒(3-3) 第4位
共通男子4×100mリレー
古中 睦人(2-5)・庄司 暁人(2-5)・
村上 諒・美藤 幹汰(3-5) 第5位